

5
27

救助技術とチームワークで、安心のまちづくり 石岡市消防本部の訓練の成果を披露



▲ 21歳～39歳の隊員で構成された救助隊。引揚救助訓練とは7m下から救出者を引き揚げるという訓練です（写真右）

石岡市消防本部には、交通事故や自然災害などの場面で人命救助にあたる28人の消防隊員で構成された救助隊があります。

ロープを使った引揚救助や交通事故や高所での救出など、隊員たちは日々訓練にあたっています。5月27日に柏原分署で、今泉文彦石岡市長を始め来賓43名の前で、この訓練の成果をみせる「救助訓練査閲式」が行われました。

引揚救助訓練に参加した渡部優隊員は救助隊に入って2年目。「私たちが立ち会うのは、緊

迫した現場です。そこで不安を抱える住民の皆さんに安心感を与えられるように救助技術を磨き、厳しい現場の最前線で成長しながら、人を助けたい」と話します。

石岡消防チームは、昨年の県消防救助技術大会で、引揚救助訓練で2年連続で県1位になり、関東大会に出場しました。隊員たちの救助技術とチームワークの賜物。

大切なひとりの命を救うために、隊員たちは救助技術の向上に励んでいます。

6
9

茨城県フラワーパーク バラまつり好評 今回は、やまゆりまつりです



5月15日～6月23日まで、茨城県フラワーパークで800品種3万株のバラが咲く行われたバラまつりが行われました。昨年5月にバラの歩みを1945年から年代別に楽しめる「My rose」やフランスのバラを集めた「peti four / プチフル」などの庭園が誕生しています。7月6日～21日は、ゆりの王様といわれる「やまゆりまつり」です。期間中の土日祝日は、午前7時30分から開園しています。ぜひ、お越しください。

5 / 11

今年で32年目。観察力や発想力が身につく「石岡少年少女発明クラブ」の活動が始動



▲発会式後に、滑石と紙やすりを使用して勾玉作りを行いました。

モノづくりに興味のある、市内小学校3～6年生の児童16人で、旧城南中学校（毎月第2土曜日）での活動が始まりました。

どんなものを作るかは子どもたちの自由。クラブは元教員OBなどで運営しています。昨年度は茨城県発明工夫展で、作品の量・質ともにナンバー1を意味する学校賞を南小学校が受賞するなど、市内の子どもたちのアイデアがキラリと光った年。今年はどうな素敵なアイデアを形にしてくれるか楽しみです。

5 / 18

大規模地震の発生を想定 市職員128人による避難所開設・運営訓練



午前8時22分に震度6弱の地震が発生したとして、各避難所の担当者へ一斉にメール通知。避難所開設担当者が自宅から各避難所に向かうとともに、本部からは無線機を渡すためのバイクが発進しました。

その後、随時、災害対策本部が各避難所と相互に無線等で情報のやりとりをしながら、避難所の開設時間の共有や、各避難所の物品確認、発電機や投光器・無線電話などの操作チェックなどを行いました。

6 / 3

近代測量150年記念特殊切手贈呈式 石岡VLBIアンテナ切手のデザインに



▲贈呈式では国土地理院総務部調整官 宇田厚生氏から石岡市長へ切手が手渡されました。

「近代測量150年」を記念した特殊切手が日本郵便株式会社から発行され、国土地理院による切手の贈呈式が石岡市役所で行われました。この切手は、石岡測地観測局のVLBI（超長基線電波干渉法）アンテナのほか、測量の施設や機器・風景が描かれています。今回発行された特殊切手に描かれた石岡測地観測局は世界の中で日本の位置を定めるためのとても重要な施設です。

